

防災講演会 第56回 災害環境  
科学セミナー

オンライン Zoom と対面のハイブリット開催

参加費  
無料



# 人を育む、 未来を創る、 防災の伝え方

関東地震の発生から100年、日本海側に津波被害を及ぼした日本海中部地震から40年を迎えました。過去の教訓を忘れず、突然襲ってくる大地震や津波から子どもたちの命を守るために、学校現場ではどのような「備え」をしていますか？

防災の専門家から、身近で実践できる最新の防災を学びましょう。

プログラム

- 13:00~13:05 開会挨拶(新潟大学災害・復興科学研究所長)
- 13:05~14:35 【講演】  
講師：慶応義塾大学環境情報学部  
准教授 大木聖子
- 14:35~14:55 質疑
- 14:55~15:00 閉会挨拶(新潟地方気象台長)

講師

大木 聖子(おおき さとこ) 准教授  
(慶応義塾大学環境情報学部)

専門は地震学・災害情報・防災教育など。高校1年生の時に起こった阪神・淡路大震災を機に地震学を志す。

2001年北海道大学理学部地球惑星科学科卒業、2006年東京大学大学院理学系研究科にて博士号を取得後、カリフォルニア大学サンディエゴ校スクリプス海洋学研究所にて日本学術振興会海外特別研究員。2008年4月より東京大学地震研究所助教、2013年4月より現職。

主な著書に、『超巨大地震に迫るー日本列島で何が起きているのか』(嶺南一起教授との共著、NHK 出版新書)、『地球の声に耳をすませて』(くもん出版)、『地震防災はじめての一步』(東京堂出版)など。

2012年9月『情熱大陸』への出演、NHK防災番組『明日をまもるナビ』(毎週日曜放送)へ出演中。

日時 2023年9月23日(土)

13:00~15:00 ※12:30~開場・参加者接続確認

会場 新潟大学駅南キャンパスときめいと

新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラーク1・2階

定員 会場参加-60名(先着順) オンライン参加(Zoom)-300名

※参加費は無料ですが、インターネットに接続する費用を負担してください。

対象者 新潟県内の学校に勤務する教職員。その他、学校関係者(教育委員会等)、学生、一般。

どなたでもご参加いただけます。定員になり次第締め切らせていただきます。

申込方法 申込締切：2023年9月15日(金)16時まで

メールにて、新潟大学災害・復興科学研究所 [nhdr\\_office@gs.niigata-u.ac.jp](mailto:nhdr_office@gs.niigata-u.ac.jp) まで、申し込んでください。

〔メールの件名〕9月23日 防災講演会、「人を育む、未来を創る、防災の伝え方」参加希望

メールの本文にて、会場参加又はオンライン参加、お名前、ご連絡先、ご所属、職名(学生の方は学年)をお願いいたします(個人情報とは本件以外に使用しません)。

申し込みのあったオンライン参加者へは、オンライン接続(Zoom)に関する情報を返信いたします。

【会場参加される皆様へ】入室の際、拡大防止のため、以下のことにご協力をお願いいたします。

- 入口に消毒用アルコールを用意しておりますので、手指の消毒をお願いいたします。
- 室内ではマスクの着用(任意)をお願いいたします。
- 室内では間隔を空け距離を取りますが、咳エチケットなどの一般的な感染症対策をお願いいたします。
- 咳・発熱などの症状がある方、体調に不安のある方、新型コロナウイルス感染者や感染の疑いが高い方々に濃厚接触のあった方はご入室をご遠慮くださいますようお願いいたします。

問い合わせ 新潟大学災害・復興科学研究所事務局 TEL.025-262-7051(代) E-mail [nhdr\\_office@gs.niigata-u.ac.jp](mailto:nhdr_office@gs.niigata-u.ac.jp)